活動目標
地域活動の充実
子ども会活動への支援
専門部会活動の充実

わかくさ

第47号平成26年3月15日
編　集
大和市青少年指導員連絡協議会
広報部会
編集責任者　鈴木勝雄
発行 大和市教育委員会
TEL 046-260-5224
FAX 046-261-4900

子どもたちの声であふれる青少年センターまつり

12月1日（日）10:00-15:00、青少年センターで第１８回青少年センターまつりが開催されました。当センターを拠点として活動している青少年団体が日頃の成果を発表するとともに、団体相互のふれあいや情報交換の場とすることを目的としたおまつりです。また、市内の４０名を超える中学生ボランティアを中心に組織した「子ども部会」を１０月に設置し、子どもたちの自由な発想でゲームコーナーの企画・運営を行っておまつりを盛り上げています。

当日は、晴天に恵まれ、１０５６名と多くの方が来館されました。１階ステージでは、青少年６団体による空手、ダンス、新体操などの見事な発表の連続でした。２階では、青少年団体による体験型ブース（組み紐、手づくりおもちゃなど）や中学生ボランティアによるゲームコーナー（射的、おばけやしきなど）、３階では、まほろば教室によるゲームコーナー（魚つりなど）、どのコーナーもにぎやかで、長蛇の列もできているところもありました。また、駐車場での模擬店は、完売が相次ぎ大盛況でした。

まほろば教室：
学校に行きたいと思いながら、登校できないことを悩み、なんとかしようと苦しんでいる児童・生徒への支援のため設けられている教室で、学校や児童・生徒から通称名として「まほろば教室」と呼ばれています。

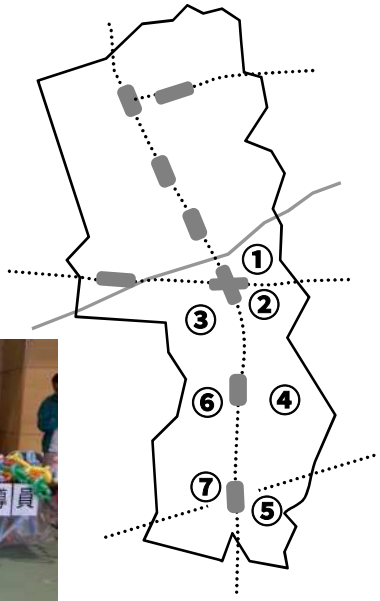
参加中学生ボランティアの声：

- １０月から意見などを出し合い、やりたいことを自分たちで決められ、いろいろな学校の人と交流ができよかった。（子ども部会長の声）
- １０月から準備に大変だったけど、よかった。
- 土日にみんなで集まり準備し大変だったけど楽しかった。
- 今日は、おもしろい、楽しい。
- グループ同士で信頼関係が深まった。
- １つの目標に向かって、みんなで協力できてよかった。
- 小さい子にやさしく接することができた。

青少年指導員も中学生ボランティアをサポートさせていただきました。

大和市青少年指導員の地区活動紹介

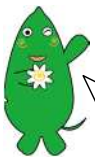
４５号の市北部地区紹介に引き続き、今回は市中央・南部地区の活動を紹介いたします。



① 大和地区

大和地区は、直接子どもたちと触れ合うことを楽しみにしています。青少年指導員の研修などで習ったバルーン作りを大和小学校、大和東小学校のふれあい広場で行っています。低学年の児童は自分で空気を入れられるだけでも喜び、高学年の児童は自分で上手に作っています。夏のわんぱく遊び体験では、子ども自ら包丁を持って野菜を切るなどの初めての経験をします。私たちは他の団体や自治会の人たちと仲良く協力し、子どもたちの育成に努力しています。

来てくれるかな！



地図上の①～⑦が今回紹介する地区です。

② 深見地区

明日天気になぁれ！

私たちの地区では、普段から大和地区と合同で会議や地区活動を行っています。今年度の活動行事では、台風の当たり年ということもあり、深見小学校でのふれあい広場の開催が中止となりました。大和東小学校と大和小学校は雨天のため、体育館などを使用した室内での開催となり、非常に残念でした。

来年度は、子どもたちの元気な笑顔がたくさん見られるように、お天気に恵まれることを祈り、バルーンアートのスキルアップを行い、さまざまな地区活動に努力していきます。

③ 中央地区

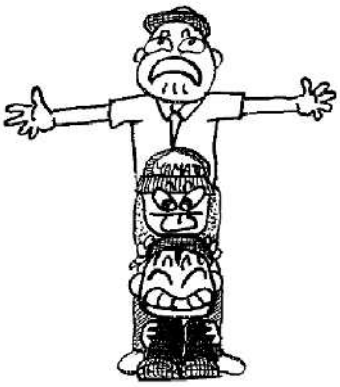
子ども会活動が充実している中央地区は、一年間を通して他団体と共催・協力の行事があります。また、各自治会にも独自にレクリエーション大会・お楽しみ会・芋ほり会などがあり積極的に参加しています。３０周年を迎えた中央地区社協主催の「ふれあい体験」では、３つの小学校から学年の違う児童が泉の森に集まり、ネイチャーゲームやカレーづくりを行って楽しみました。「人を思いやる心・連帯感・協調性を育み心豊かな子どもを育てる」というスローガンに沿って毎年プログラムを工夫します。子どもたちに思いが届き、次へとつづくことが私たちの願いです。

ネイチャーゲーム

④ 桜ヶ丘地区

がんばってうどんをねってます

桜ヶ丘地区では、年間をとおして地域の１１自治会と各団体で協力し、親子でふれあう行事を行っています。行事として３月の「親子うどん作り」ではお父さん、お母さん、おばあちゃん、おじいちゃんと子どもたちが、力を合わせて作ったおいしいうどんを食べて大満足して毎回好評です。その他は地域祭、体育祭、コミセンまつり、クリスマス会と地域の子どもたち、自治会、上和田中学校のボランティアと共に青少年指導員も楽しい活動を行っています。



⑤ 高座渋谷地区

私たちの地区は、１０名で活動しています。

夏休みの“お楽しみ会”を８月に行い、下和田、上和田コミセンで、手作りの楽しさを味わってもらおうと、マンサクという木の実のストラップやペットボトルキャップスタンプを作り、その後、すいか割りやピザ作りをして、子どもたちに喜んでもらいました。また、私たちも楽しい一日を過ごすことができました。

これからも、このようなプチイベントを行っていきたいと思います。

どんなスタンプができるかな～

⑥ 上福田地区

日々是好日

上福田地区は、年に１度、近隣の桜ヶ丘地区・高座渋谷地区・下福田地区と共に、合同研修会を持ち回りで行っています。毎年、各地区それぞれに工夫を凝らして、研修内容を考え、実施しています。今年度は私たち上福田地区の主催。午前中は、自然に詳しい当地区青少年指導員の企画で、引地川で活動を行っている大和市内の団体から講師をお招きし、引地川の生き物や、水質、川遊びについての勉強。「川で昼食」と題したメニューのお昼ご飯ののち、午後からの研修は、当地区が誇る通称「Mr.歩き目出ス(ｱﾙｷﾒﾃﾞｽ)指導員」による円周についての講義です。いずれも、地域社会の青少年活動の推進に反映できる内容で、今年の合同研修会も例年に違わず、大変有意義な一日にすることができました。

⑦ 下福田地区

私たちの地区には福田と下福田コミュニティセンターがあります。私たち青少年指導員は、両コミセンの行事に参加しています。夏の「七夕のつどい」では、駐輪場の整理や、子どもたちと遊ぶなどしています。秋の「コミセン祭り」には、下福田コミセンで焼きそばやフランクフルトを、福田コミセンでは焼き鳥を作って近隣の人たちに喜んでもらっています。冬の「クリスマス会」にも参加しています。今後も、下福田地区青少年指導員は、コミセンの行事を応援していきます。

おいしいよ～

後期一日研修を行いました

平成２５年１１月２３日（土）に、大和スポーツセンターにて、大和市スポーツ推進委員の方々を講師にお招きし、室内で行えるニュースポーツを体験しました。カローリング・室内ペタンク・シャフルボードの３種類を行い、体力よりも頭を使うゲームで、楽しみながら研修を行いました。いつか皆さんにも体験できる機会を、と考えています。

おめでとうございます

第４１回大和市青少年健全育成大会が、平成２５年１１月２４日（日）保健福祉センターで開催されました。「青少年育成活動推進者」として表彰された青少年指導員は次の方です。

清水 好美　（中央地区）

（敬称略）

いじめと戦う～立ち向かうには、知ることから

《いじめる子といじめられる子は簡単に逆転》

「いじめられたことがある小学生」と「いじめたことがある小学生」はともに約 90%、つまり大多数の子が被害と加害両方を経験しています。「わが子は加害者にも被害者にもなり得る」のです。

《言葉の暴力を軽く考えない》

「うざい」「きもい」「死ね」などの言葉を当たり前に繰り返すことは、生きる気力を奪い深刻ないじめに発展します。大人もふだんから使わないでほしい、使わせないでほしいと思います。

《思春期の心理》

親に心配させたくなくて(好きだからこそ)相談できない思春期の心。いじめの有無をしつこく聞く、「やり返せ」と励ます、などは逆効果。また大人自身の悩みやストレスが、子どもをいじめっ子にする場合も。

《ネットの危険性を知る》

インターネットのルールを、子どもは学ばないままネット社会に接しています。ＳＮＳ(ｿｰｼｬﾙﾈｯﾄﾜｰｷﾝｸﾞｻｰﾋﾞｽ)や無料メールアプリが、集団対一人といういじめにぴったりの道具にもなり、ゲーム機や音楽プレーヤーでも利用できる実態を知っていますか？スマホやパソコンなどを与える保護者の責任や知識が問われます。

《逃げることも大切》

いじめをはね返すパワーを失った場合や、身の危険を感じた時には、欠席や転校も選択肢に。環境を変えて乗り越えられることもあります。

【バルーンアート】

子どもたちへ！

◆ **いじめるのも、それを見て笑うのも、ダサい。**

「だれかをいじめてもつまらないし、そんな時間もったいないよ。」 …そんな子の方が、賢くてかっこいい。さりげなく態度にあらわそう。

◆ **一人で悩まないで、まず相談！**

●身近な先生、またはスクールカウンセラー (各学校)
●大和市いじめ１１０番(月～金　8 時半～17 時)
0120-874-255
●文部科学省　２４時間いじめ相談　0570-0-78310
●チャイルドライン支援センター(月～土 16 時～21 時)
0120-99-7777
●ウェブサイト「いじめと戦おう！」 http://www.ijimetotatakaou.com/

いじめがなくなることは、残念ながらなかなかむずかしいでしょう。ですが、少しでも子どもたちが生きやすくなるよう、近所のお節介おじさん・おばさんとして力になれたらと願っています。

？？ わかくさクイズ ？？

次の（　）の中から正解を選んで答えてください。

１．青少年センターまつりは何回目の開催でしょうか？（①８回目　②１８回目　③２８回目）
２．青少年指導員の広報紙の名称は何というでしょうか？（①みどり　②わかくさ　③なのはな）
３．今回広報紙に紹介された地区はいくつあるでしょうか？（①５地区　②６地区　③７地区）

●クイズの答え、“わかくさ”を読んだ感想、氏名、住所、年齢を書いてはがき又はＦＡＸで送ってください。
●正解者の中から、抽選で 40 名様に図書カードを進呈します。(〆切：4 月 15 日 消印有効)
なお、当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

〒242-0021 大和市中央１－５－１４ こども・青少年課 FAX：046-261-4900